

	試験科目	出題意図
人間科学研究科 臨床心理学 専攻 2024年 9月14日 実施	語学	<p>問題1：心理学領域の英語の学術論文（調査研究）を正確に読み解き、修士課程に必要な専門的読解力を評価する。具体的な研究の枠組みや仮説を正しく理解し、日本語で具体的に説明できる能力を確認する。</p> <p>問題2：臨床心理学に関する英語の学術論文を理解する能力を問う。専門用語および、心理臨床における専門的態度について、英語で記述された文を文脈を踏まえて的確に理解・和訳できる力を評価する。</p>
	小論文	人間の発達をライフステージの視点から捉え、家族における異なる世代の「思春期・青年期の子ども」と「成人期・中年期の親」という、それぞれの世代が抱える発達課題に関する知見を問い、相互の関係性について、家族臨床心理学的知見に基づき整理・論述できるかを問うた。
	専門科目	<p>問1：心理学の専門領域における基礎的な知識の理解度を確認し、心理療法に関する理論に基づいた具体的な対応を自身の言葉で論理的に説明できるかを評価する。</p> <p>問2：心理検査およびアセスメントに関する専門知識の正確さを確認する。さらに、心理アセスメントの結果の扱いや専門的配慮について、臨床心理学の専門的知見に基づいたより適切な提示の仕方を理解しているかを評価する。</p> <p>問3：心理学の広範な領域における基礎的な知識が身についているかを確認する。また、AIの普及といった現代社会の変化に対して、学術的理論と関連付けながら自ら研究課題を構想し、その研究が明らかにすべき点および意義を、専門性もふまえて論理的に説明できる能力があるかを評価する。</p>

	試験科目	出題意図
人間科学研究科 臨床心理学専攻 2025年 2月22日 実施	語学	<p>問題1：心理学に関する学術的な講演のテキストを題材とし、英語で記述された内容についての正確な読解力を評価する。</p> <p>1.統計的・科学的思考の理解：性差のような心理学的問題について、データの読解を通じて正確に把握できるか。</p> <p>2.研究論理の把握：当初の知見に対する追試の結果を整理し、論理的な帰結を説明できるか。</p> <p>問題2：発達心理学、特に描画表現の発達に関する専門的な英文を理解する能力を問う。</p> <p>1.文脈把握力：児童の絵画特徴について記された英文の内容を正確に捉え、具体的な理解に結び付けられているか。</p> <p>2.内容の精査：本文の概要を適切に把握し、趣旨と一致する選択肢を的確に判断できるか。</p>
	小論文	<p>現代社会において重要性を増している「多様性の尊重」と「心の支援」というテーマについて、定められた文字数の中で論理的に自分の考えを記述する能力を評価する。</p> <p>1.課題発見・テーマ設定力：多様性が尊重される社会という広範な枠組みの中から、支援の在り方に関する具体的な問いを自ら設定できるか。</p> <p>2.論理的思考・記述力：設定したテーマに対し、自身の考えを論理的かつ一貫性を持って論述できるか。</p>
	専門科目	<p>問1：心理的アセスメントにおける各種検査の分類や技法に関して、正確な基礎知識を有しているかを確認する。また、初回面接において不可欠な倫理的概念を適切に理解し、臨床の導入場面における専門的態度の重要性を説明する能力を評価する。</p> <p>問2：臨床心理学における主要な技法の定義と言語化能力を確認する。さらに、スクールカウンセリングの具体的な事例を通じ、クライアントの行動が持つ意味や防衛的な側面を多角的に推察し、その見立てに基づいた適切な介入方針を理由とともに論理的に提示できるかを評価する。</p> <p>問3：心理学および研究法における重要な基礎用語を正確に把握しているかを確認する。特に関連する用語対について、その差異と共通性を的確に整理・解説できる深い専門的理解度を評価する。</p>